

日本舞踊公演

京都府次世代等古典芸能普及促進公演

藤間勘須和リサイタル

すずめ

第二回

須々めの會

新曲

黄泉比良坂

YOMOTSUHIRASAKA

義太夫

葛の葉

令和7年 1月25日(土)

午後2時開演 午後1時半開場・午後4時終演予定

金剛能楽堂 京都市上京区烏丸通中立売上ル(京都御苑・中立売御門前)

前売 4000円・当日 4500円・学生 2000円(税込・全席自由)

主催 須々めの會 藤間勘須和

監修 藤間勘祐悟

後援 京都府 京都市 古典の日推進委員会 京都新聞 ジャポニスム振興会
関西元気文化圏参加事業



須々めの會
詳しくはこちら

S U Z U M E n o K A I

F U J I M A K A N S U W A 2 n d R E C I T A L

藤間勘須和リサイタル

第二回

須々めの會

須々・島中披露

新曲 黄泉比良坂

YOMOTSUHIRASAKA

巫女 藤間勘須和

イザナキ、イザナミの大げんか！ その結末は？

黄泉比良坂(ヨモツヒラサカ)とは、この世とあの世をつなぐ坂道。昔々、この坂道で、日本の国を生んだと言われる夫婦神、イザナキとイザナミが大げんかをしつづけます。その様子を、あやしげな厄戯(わざ)などで世を渡る「歩き巫女」が面白く見せるのですが、訝(あや)しげな神々の間に、謎の美女神ククリヒメも登場し、迎える結末とは……!? 古来、神にも仏にも馴染み深い、この国ならではのにおらかな言語(ごんご)を、新しい音曲とともにお楽しみください。

解説

井上理砂子

義太夫 葛の葉

狐葛の葉 藤間勘須和

振付 藤間勘祐悟

安倍晴明のお母さんって、どんな人？

多くの逸話に彩られ、今なおミステリアスな存在感を放つ陰陽師・安倍晴明。その伝説のひとつ、晴明の実母が狐であったという話にもづく古典舞踊です。狐狩りの折、安倍保名(晴明の父)に助けられた信太の森の白狐が、保名の許嫁に姿を変えて恩返しに現れ、子をなし、数年を家族として暮らしますが、やがて狐の正体が知れて、子どもを残し古栗の森へ帰る道行を描きます。不思議な神通力と温かく切ない親子の情。人とケモノの間を行き来する心身の揺らぎを、日本舞踊らしい早替わりの演出も交えてお届けします。

ゲスト出演 やしよめ



藤間勘須和



重森三果 (唄・三味線)



滝本ひろ子 (太鼓・笛)



中川佳代子 (箏)



森美和子 (笛)

司会/解説



井上理砂子
(元・京都新聞解説委員)

はじめてでも
わかる!
楽しめる!
日本舞踊公演

前売 4000円・当日 4500円・学生 2000円 (税込・全席自由)

※親子席(高校生までの学生1名+保護者1名=5000円)のご用意あります。

下記、須々めの會までお問い合わせください。

【チケットお申込み・お問合せ】

須々めの會 070-5505-9288 (担当:小島)
officeand@pop21.odn.ne.jp

金剛能楽堂 075-441-7222



チケットは
こちらから



instagram



同文化力文化協会11月号

アクセス 市営地下鉄烏丸線「今出川」駅
下車、6番出口より南へ徒歩5分
(駐車場はございませんので、お車御乗りの
一般有料駐車場をご利用ください)

